

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	ひまわりとよた		
○保護者評価実施期間		2025年12月15日	~
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間		2025年12月15日	~
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日		2026年1月28日	

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの主体性を大切にし、自分で考えたり感じたりしながら成長してくれることを目的として、支援を行っています。	活動においては、ひとりひとりの「やりたい」という発信をすくい上げ、また自分から発信するのが苦手なごどもさんの「好き」や「楽しい」ことも把握して積極的に取り入れて行っています。生活の中では、色々な場面で、どうしたら良いのか自分でまず考えることを促しています。	こどもが楽しめること、集中できることを増やすような取り組みや提案を行っていけるよう、色々な情報を集めていきたいと思います。
2	集団での活動を大事にしています。	ひまわりとよたには色々な友達が来ていることを理解してもらい、みんなで一緒におやつを食べたり、遊んだり、一緒行動することで、他者に対する理解や、思いやりのある行動が出来るよう促しています。	一緒に活動していく中で、当番や司会など、みんなの前に出て行動する機会を作り、経験を重ねていけるように支援していきます。
3	ご家族の要望を把握し、出来るだけお応えしています。	お迎えの方法や時間、デイでの過ごし方に関するなど、事業所として協力できることがあるか検討し、お応えしています。日頃からコミュニケーションをしっかり取り、ご家族が大変な思いをしていないかを意識しています。	コミュニケーションを取ることが苦手なご家族がいることも理解し、細心の注意を払いながら関係を築いていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋数が少なく、静かに活動出来るところが限られています。	事業所内がワンフロアと相談室、事務室しかない。ブレイルームを仕切って使っているが、音は聞こえてしまうので、静かな環境になりにくい。	現在あるカームダウンスペースや相談室等を活用しつつ、今後も室内スペースの有効活用についてこども達の意見も聞きながら、改善していきます。
2	事業所の周囲が交通量の多い道路であるため、送迎や外出の際に注意が必要です。	駅から近く交通の便が良い場所である。また、目の前に小学校があり、下校時間には保護者の送迎車も多いため。	送迎の際には必ず玄関の近くまで送迎車を持って来て乗り降りしています。 また、注意の必要なお子さんには必ず職員が付き添っています。送迎時は送り出し担当の職員を必ず決めて対応していきます。
3	保護者やさうだいが交流できるイベントなどの開催が年に一回で、参加できる人が限られてしまっています。	今年度のイベントの内容は例年と違うものが開催できましたが、回数が少なく、仕事をしている保護者にとっては参加しづらいと思われます。	もう少し回数を増やし、内容や時間も参加しやすいものを考えていきたいと思います。